

「山岳トイレ技術シンポジウム」討議構成・内容（案）

目的

○実証モデル事業の 5 年間の成果報告

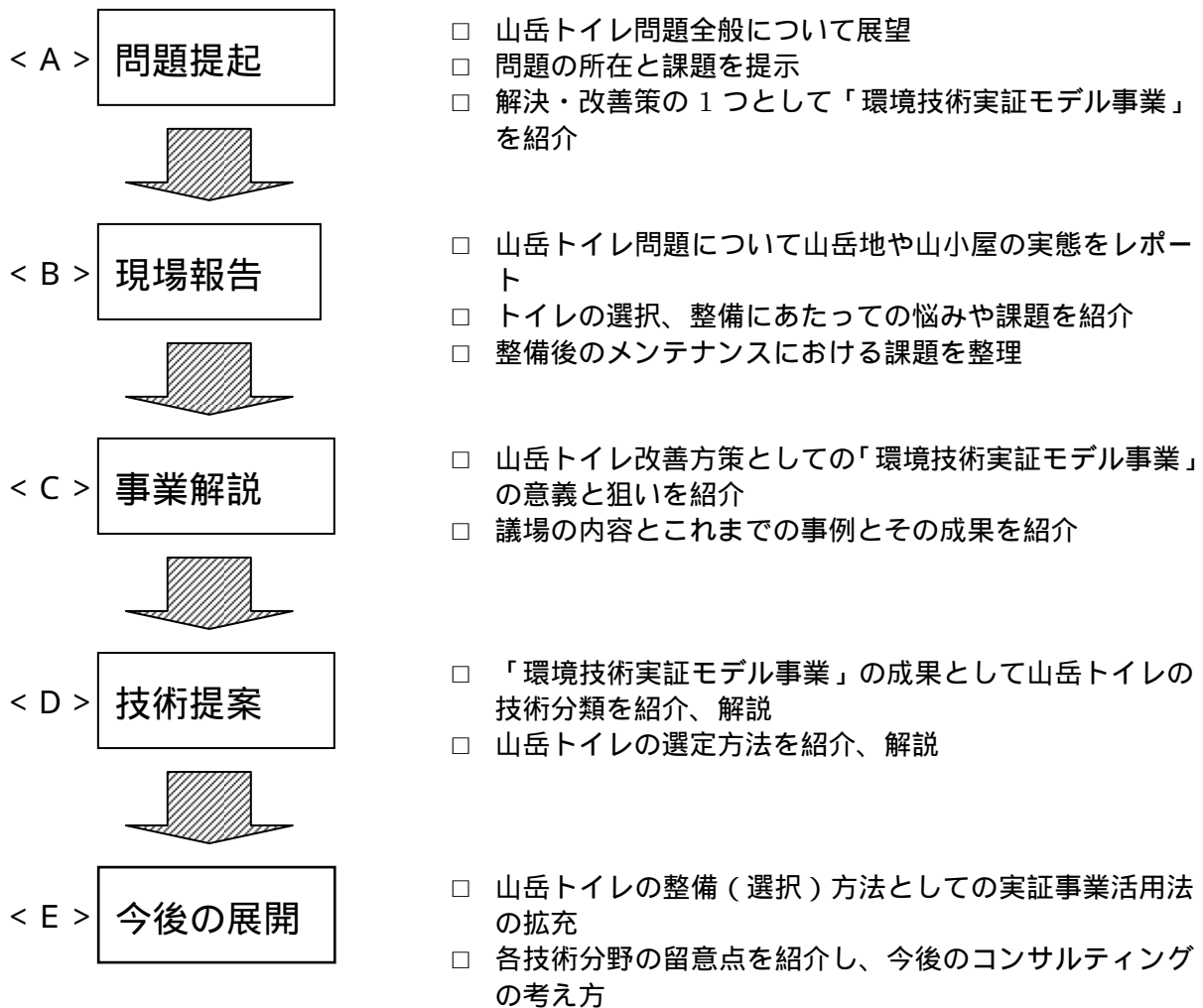
- ・ 実証済み 9 技術の概要を報告
- ・ 開発者の技術の特徴が明確化
- ・ 山岳トイレの改善策としてのモデル事業の結果の活用方法（仕組みや事例を紹介し、事業の理解と推進を図る）

○山岳トイレの課題の共有

- ・ 山岳トイレ整備の必要性について、関係者の共通認識をつくる
- ・ 設置後のトラブルや対応について、問題や悩みの所在を確認し、解決・改善方策の方向性を確認する
- ・ 山岳トイレ整備・メンテナンスについての技術事例に関する情報交換の場とする
- ・ 山岳トイレ技術に関する情報を、行政、山小屋、企業、専門家等で共有する

○実証事業を踏まえた山岳トイレ技術の方向性と提言

- ・ 環境技術実証モデル事業の次の展開に関する広報、および参画に向けた PR を行う
- ・ 設置と維持管理に関する相談体制への提言
- ・ 整備の継続的な推進と適切な維持管理の必要性への言及
- ・ モデル実証事業の事業を通じて作成した「山岳トイレの技術分類」と「山岳トイレ選択法」を広報し、その活用について推進を図る。
- ・ 山岳トイレの個別技術についての留意点を示し、山岳トイレ整備・改善に向けたサポート手段とする。



山岳トイレ技術シンポジウム プログラム案

- 12:00 受付
- 12:30 開会あいさつ—山岳トイレ整備の取り組み—
中野安則（環境省自然環境局自然環境整備参事官）
上 幸雄（NPO 法人山の ECHO 代表理事）
- 12:50 〔現場からの問題提起〕“ 山岳トイレ整備・維持管理の課題と対応 ”
コーディネーター：岡城孝雄
報告：秋田県、福島県、米川氏
- （１）山岳トイレ技術の選定理由
（２）山岳トイレ整備後の効果
（３）山岳トイレを維持するためのコスト、保守点検、エネルギー等
- 13:50 休憩
- 14:00 〔事業解説〕山岳トイレ実証モデル事業とは ”
- これまでの経緯と現状の課題 -
環境省自然環境局自然環境整備参事官室
- （１）これまでの事業実施報告と紹介
（２）モデル事業の実施内容の整理
- 14:20 〔技術提案〕“ 山岳トイレの分類と機種選定方法の提案 ”
報告：桜井敏郎、相野谷誠志
- < テーマ１ > “ 山岳トイレの技術分類を提案する ”
< テーマ２ > “ 山岳トイレ技術の選定方法を提案する ”
- 14:40 休憩
- 14:50 〔今後の展開〕“ 適切な山岳トイレの選択とメンテナンスの確立を目指して ”
< テーマ１ > “ 山岳トイレの実証試験の活用方法 ”
報告：環境省、
< テーマ２ > “ し尿処理、建築、エネルギーの留意点 ”
報告：岡城孝雄（し尿処理）、小川武（建築）
森武昭（エネルギー）、穂苅康治（山小屋）
- 16:00

「山岳トイレ技術シンポジウム」開催のご案内（案）

平成 19 年 12 月

主催：環境省自然環境局

運営：NPO 法人山の ECHO

当シンポジウムは、環境省からの業務委託により NPO 法人山の ECHO が実施しております。

また、本案内は地方公共団体、環境省関係部局、山小屋関係者等にお送りしております。

寒気の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

NPO 法人山の ECHO では、2 月 1 日（金）に、タワーホール船堀（江戸川区）において、平成 15 年から実施されてきた環境省環境技術実証モデル事業「山岳トイレ技術分野」をうけて山岳トイレの適正整備に向けてシンポジウムを開催することとなりましたのでご案内申し上げます。

今回のシンポジウムは、現在、山岳トイレが抱える課題の解決に向けて、「山岳トイレの分類」発表を行うとともに、トイレ選択やメンテナンスの方法、および留意点など具体的な情報提供を行うこととします。

つきましては、貴殿の本シンポジウムへのご参加を賜りたく、ご案内申し上げます。

敬具

記

- 主催：環境省
- 運営：NPO 法人山の ECHO
- 開催期日：2008 年 2 月 1 日（12:00 開場）12:30～16:00
- 開催会場：タワーホール船堀 4F 研修室（東京都江戸川区船堀 4 丁目 1 番 1 号）
研修室「都営新宿線」で船堀駅下車、徒歩約 1 分（別紙地図参照）
- 開催内容：山岳トイレ技術シンポジウム（別紙参照）
- 定員：70 名程度（希望者多数の場合、締切日前に終了させていただく場合がございます。）
- 参加費：無料
- 申込み方法／締め切り：別紙の内容を下記までご送付ください。（1 月 28 日（月）正午必着）
- 申込み・問合せ先：NPO 法人山の ECHO（担当：田中、永原）
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-11-7 第 2 文成ビル 3F
TEL:03-3580-7179 FAX:03-3580-7176 n_tanaka@yama-echo.org
URL:<http://www.yama-echo.org/>
- 問い合わせ先：環境省自然環境局自然環境整備担当参事官室（担当：坂上）
〒100-8975 東京都千代田区霞が関 1-2-2 中央合同庁舎 5 号館
TEL:03-3581-3351 内線(6457) FAX:03-3595-0029

以上

環境技術実証モデル事業とは、既に適用可能な段階に有り、有用と思われる先進的環境技術でも環境保全効果等についての客観的な評価が行われていないために、地方公共団体、企業、消費者等のエンドユーザーが安心して使用することができず、普及が進んでいない技術について、その環境保全効果等を第三者機関が客観的に実証する事業です。

NPO 法人山の ECHO 宛

E-mail: n_tanaka@yama-echo.org

FAX 番号 03-3580-7176

「山岳トイレ技術シンポジウム」参加申込書

日 時	会 場
平成 20 年 2 月 1 日 (金) 12 : 30 ~ 16 : 00	タワーホール船堀 4F 研修室

ふりがな 氏 名			
ふりがな 貴社名			
所属・役職			
所在地	〒		
電話番号		FAX 番号	
E-mail			

